

FASTSERVE | I/O

低価格のオールインワン収録・送出サーバー

ハイエンド・ビデオサーバーのパワフルな性能、効率と信頼性を、予算に優しい単一のソリューションが提供します。小規模および地域的なニュースやスポーツ放送局向けにデザインされた FastServe® | I/O は、MediaCentral®、Avid NEXIS®、およびその他の Avid、サードパーティ製のシステムおよびコントローラーとシームレスに統合してメディアの収録および送出を自動化し、素早い制作フローを実現します。ゆとりをもたらしながら、オンエアまでのターンアラウンドタイムを向上します。加えて、拡張性に優れたモジュラー式デザインにより、将来的にはいつでも、UHD、HDR、ビデオオーバー IP ワークフローへ簡単に移行することができます。

高性能を低価格で

プレビュー、収録、送出機能をオールインワンで提供するパワフルなサーバーで、エンドツーエンド・ワークフローを合理化します。FastServe | I/O は、4系統の入力と4系統の出力により、多様な制作ニーズに対応します。また、MediaCentral と Media Composer® の統合により、「追っかけ編集」、高品質プロキシ、Send to Playback (STP) ワークフローをサポートする FastServe | I/O は、予算に優しい価格で、ハイエンドの性能と効率性を提供します。

自動収録と自動送出

MediaCentral | Acquire、MediaCentral | Capture、MediaCentral | Command と密に統合する FastServe | I/O により、メディア収録とニュースルームのランダウン送出を自動化して、オンエアまでのターンアラウンドタイムを向上することができます。そして、ゆとりをもたらします。また、API と VDCP にも対応するため、サードパーティ製の自動化コントローラーを使ってサーバーを制御することも可能です。

信頼のおけるパフォーマンス

FastServe | I/O は、単一障害点がほとんどなく、最も要求の厳しい制作環境にも対応するよう堅牢に作られています。ホットスワップ可能なデュアル電源、デュアルポートのネットワーク接続と Linux オペレーティングシステムで構成され RAID 保護されたハードディスクを装備するこのサーバーでは、必要なメディアを収録して、コンテンツを安全に保護することができます。

未来に導くデザイン

他の FastServe 構成同様、FastServe | I/O は、既存の SDI および HD インフラストラクチャで動作するモジュール式デザインです。互換性のあるインターフェースから I/O を変更する機能を備え、将来的には UHD、HDR、SMPTE ST 2110 規格を含むビデオオーバー IP ワークフローへ簡単に移行することができます。



主な特長

- ▶ MediaCentral および Avid NEXIS とシームレスに統合するオールインワンの収録・送出サーバーでニュースやスポーツ制作を加速
- ▶ 最大4系統の入力および4系統の出力に接続して様々な制作ニーズに対応
- ▶ メディア収録と並行して高品質プロキシを生成し、編集ワークフローを効率化
- ▶ MediaCentral | Acquire または MediaCentral | Capture を併用し、自動スケジューリングや自動コントロール機能で迅速かつ正確にメディアを取り込む
- ▶ 数百時間分の素材を内部ストレージにキャプチャ、冗長10GbE インターフェースから Avid NEXIS ストレージにリアルタイム・メディア転送
- ▶ HDR メディアをそのままの 10ビット品質でキャプチャ
- ▶ 低レイテンシーの「追っかけ編集」機能により、ログ担当者、ジャーナリスト、クラフトエディターにメディアを即座に提供
- ▶ 「Send to Playback」(STP) 機能を使い、編集タイムラインから FastServe | I/O へ転送しながらメディアを送出
- ▶ RAID 保護されたディスクと冗長電源および冗長ネットワーク接続で保全
- ▶ HDからUHD (近日対応) へ、またはSDI からビデオオーバー IP ワークフローへの移行を簡単にする互換性のあるインターフェースで投資を最適化

詳細はこちらをご覧ください
avid.com/fastserve



FastServe | I/O—低価格のオールインワン収録・送出サーバー

CPU	AMD EPYC 7313P、16コア、3 GHz
オペレーティング・システム	CentOS Linux
メモリ	128 GB RAM
データ・インターフェース	1 x シリアル 4 x USB 3.0 (2 x 前面、2 x 背面) 2 x 10 Gb Ethernet (SFP) 2 x 1 Gb Ethernet (RJ45) 1 x 1 GB (RJ45、IPMI用途) 1 x VGA メンテナンス (背面) 1 XLR LTC 入力
内蔵ストレージ	HDD メディアサーバー 最大 4 x 3.84 TB (RAID ZFS ファイル・システム) システム・ディスク – 2 x 480 GB SSD、RAID 1
メディア容量	XDcam50 1080i50 61時間 XDcam50 1080i59 58時間 XDcam50 720p59 52時間 XDcam35 1080i50 79時間 XDcam35 1080i59 78時間 XDcam35 720p50 68時間
対応ビデオ・コーデック	HD: XDcamHD 422 1080i/720p、50Hz/59.94Hz XDcam 35 1080i/720p、59.95Hz
ビデオ入力	HD-SDI / 3G-SDI クリーンおよび OSD ループ 12G-SDI / Quad-Link 3G-SDI (SQD)
ビデオ出力	HD-SDI/3G-SDI 12G-SDI (SQD)、3G-SDI (SQD)、3G-SDI ダウンコンバート OSD
ビデオ出力 (モニタリング)	HD-SDI / 3G-SDI 12G-SDI / Quad-Link 3G-SDI (SQD) OSD オン / オフ
可能な I/O 構成 – HD	HD XDcam: 50/35 1080i/720p 8イン または 4イン / 4アウト
リアルタイム・プロキシ	プロキシ・オプションあり: XDcam 50
オーディオ	エンベデッド・オーディオ-PCM ; ビデオ入力ごとに最大8チャンネルのステレオ・オーディオ (XDcam 向け 4ステレオ・オーディオ・チャンネル)
ビデオ・リファレンス	ゲンロック、アナログ・ブラック・バースト / 3値シンク / ループスルー 75Ω
タイムコード入力	内部フリーラン LTC-XLR ATC ST12-2
タイムコード出力	ATC ST12-2
外形寸法 (高さ x 幅 x 奥行)	3U ラック、130 x 443 x 640 mm
重量	21.5 kg
電源	冗長電源、100~240 VAC、47~63 Hz、2 x 800W (最大)

アビッドテクノロジー株式会社

© 2024 Avid Technology, Inc. 無断複写・転載を禁じます。製品の機能、仕様、システム要件および販売形態、価格は、予告なく変更されることがあります。Avid、Avidロゴ、FastServe、Avid NEXIS、MediaCentral および Media Composer は、アメリカ合衆国あるいはその他の国における Avid Technology, Inc. およびその子会社の登録商標または商標です。そのほか本書に記載されている商標はすべて、各所有者に帰属します。

FSIOS1023

詳細はこちらをご覧ください
avid.com/fastserve